

主体的で深い学びをめざして

医王山小中学校では、それぞれの学年や学校全体で、地域の特徴を生かしたり先生方の個性を生かしたりする授業が展開されています。

以前、ある研究会に参加した時に、講師の先生から「教科書には何が書いてあるのか?」と問われました。答えに躊躇ちゆうちよしていると、「入試(高校・大学)に出ること」と言われました。



医王山の子どもたちの学び

僕たち教師は子どもたちに「確かな力」を付けさせなければいけない。教科書の外側や行間に何かあるかをしっかりと教材研究し、「教科書を教える」のではなく、「教科書で教える」でないといけない。そして、人生100年時代を迎えるにあたり、何度も「学び直し」が必要になる。だから、学びに向かう姿勢を育てなければいけないと、目から鱗うろこの話ばかりでした。

改めて医王山の子どもたちの学びをみると、知識を得ることだけではなく、ここでしか学べないことをしっかりと学べていると感じました。

例えば、6月に行われた小学校の「田植え」という取り組みは、地域の方の協力があればこそできることです。地域の方との深い交流があったからこそ、帰り際に、子どもたちからの「ありがとうございました」という言葉の花が自然と咲いたのです。感謝する気持ちを学べるとても良い機会でした。



小学校4年生では社会科のゴミ処理の勉強で、職員の方から実際のゴミ収集車を見せてもらったり、作業着や作業靴の秘密を教えてもらったりと、有意義な時間になりました。特に、もっと知りたいという思いから、しっかり質問ができたことが良かったです。その知的好奇心が学びを深めます。



中学校3年生では、金沢市の国際交流事業を活用して、市の国際交流員の方と交流しました。医王山のことを、金沢のことをいろいろ知ってもらおうと準備をし、それぞれが役割を果たして発表することができました。交流員の方のお話を聞き、知らないことを知ることができたこと、自分たちが調べたことを相手に伝えることができたこと、どれも貴重な体験となりました。



医王山小中学校で学ぶ子どもたちを見ていると、本当にわくわくしてきます。これからも、いろいろな行事や授業がたくさんあります。子どもたちと共に、主体的で深い学びになるように歩いていきたいと感じた6月でした。

中 - 加賀地区大会 6/18(土)19(日) 金沢市総合体育館



中学3年生にとって「最後の夏」である加賀地区大会が開催されました。

激励会でも伝えたとおり、「1つ1つにベストを尽くす」「ゲームを楽しむこと」を選手は達成できたのではないのでしょうか。自分の持っている力を全員出し切ったと思います。3年生は残念ながらこれで引退となりますが、中学校の部活動で学んだことはこれからの大きな支えになります。頑張り切れたことに自信を持ってください。1・2年生は、良き経験になりました。ここからの1年間のために、経験を糧に頑張ってください。

加賀地区大会 激励会 6/17(金)



大事な大会に出場する中学生の選手は、今年も小学生の力強い激励を受け、元気で勇気ももらいました。

プール掃除 6/8(水)



毎年恒例のプール清掃。今年も小学校5・6年と中学生全員で行いました。

小学生も中学生も集中して細かいところまで丁寧に掃除して、短時間でピカピカになりました。

歯科保健指導 6/20(月)



歯科衛生士の松本先生をお招きして歯磨き指導が行われました。虫歯にならないように、きちんと磨きましょうね。

運動会 6/3(金)



6月3日(金)は、最高の運動会日和の日になりました。そして、君たちがそれぞれの輝きをはなち、最高のパフォーマンスをしてくれたことに、胸が熱くなりました。中学生を応援する小学生、小学生を応援する中学生の姿が、とても微笑ましかったです。ここで培った力を、学校生活の様々な場面で生かしていって欲しいと強く願っています。